

お客様インタビュー

株式会社双葉工業社様

お客様インタビュー 第1弾

お客様インタビュー第1弾は、PP製めっき前処理槽を採用いただいた株式会社双葉工業社様です。16m級の前処理槽を2槽採用いただいております、現在、3槽目を計画されています。爽やかな笑顔が大変印象的な工場長の阿部孝好様にPP製めっき前処理槽を採用された理由をお伺いしました。

-今回PP製めっき前処理槽を採用された理由をお聞かせください。

私自身、新しいもの好き！というのがありますが、営業の方に足繁く通っていただき本当に良いものを紹介しているという姿勢がとてもよかったですね。

さらに“やはり耐食！メンテナンスの軽減化できるもの”を探していたタイミングでもあり、そこにマッチしたことが大きな理由になります。コンクリート槽から始めたが直ぐにボロボロになり、FRPで内貼りし、更に衝撃防止で鉄板でプロテクトするなど、いろいろ工夫しました。ただそれでも運転できるのは4年です。



阿部孝好 様



旧めっき槽



PP製めっき槽

－メンテナンスについてはいかがですか？

メンテナンスについては期待以上です。大きな製品を天井クレーンで取り扱うので、どんなに細心の注意を払い作業をしても、槽内に製品がぶつかってしまいます。1年点検で内部を確認したのですが、深い傷で5mmのものがありました。FRPの耐薬層は薄いので5mmの傷でもアウトですから、従来のFRPであれば補修です。しかしながらPPは単層構造なので補修はせずに使用再開しています。

コスト面では、従来品よりも上がったのですが、メンテナンス費用を考えると総合的には安上がりです。これは1年点検で実感しました。



工場内めっきエリア

－トラブル時の対応はいかがでしたか？

初期納入のPP製めっき前処理槽は、納入してすぐにカバーの段差に製品をぶつけるトラブルがありました。実際はオペレーション時のトラブルでしたが、すぐに駆けつけ補修対応をしていただいたのには驚きました。2槽目の予定もあったので、その場で改良の相談もスムーズに乗って下さり感謝しています。

【訪問会社名】

株式会社双葉工業社 石狩工場
北海道石狩市新港南1丁目19番47
TEL: 0133-64-3103
業務内容: 溶融亜鉛めっき加工